

■山の恵みを海に届けます！～森と海の再生交流事業～

(11/23 早良区石釜)

博多湾には多々良川や那珂川、室見川などの二級河川をはじめ40の河川が流入し、市域の約3分の1を占める森林は博多湾の生物に必要な栄養分を供給する機能を有しています。

毎年秋に行われている「森と海の再生交流事業」には、市議会「森林・林業・林産業活性化促進議員連盟」も参加し、市漁業



協同組合の漁師さんや森林ボランティア団体、市民の皆さんとともに植林作業に汗を流しています。

昨年は大雨で中止になったのですが、この日は小学生も含め約170人が参加し、ヤマザクラやクヌギ等

約800本の苗木を植えました。山の斜面は数日前の雨でぬかるんでいたのですが、県広域森林組合の協力もあり、昼前には作業を終えることができました。

天神や博多駅周辺など、賑やかなところが注目を集めていますが、市民の環境への関心が高まっていることから、**環境保全活動へ市民が気軽に参加できる機会を多くつくっていくことが大切です。**



■気候変動への適応策交流～友好都市 中国・広州市訪問～

(11/26～29)

福岡市は、1972年に広州市と「友好都市」を締結。以来、互いの都市が抱える課題等について、意見交換を行っています。

昨年は、広州市人民代表一行が、本市を訪れ、「都市型農業の発展」について、本年は福岡市議会代表団が広州市を



広州市人民代表委員会 (11/27)

訪問し、「気候変動への適応策」に関し、各施策の実施状況について意見交換を行いました。広州市は昨年の台風襲来により、大河珠江の堤防が決壊し、市街地の多くが浸水したことから、堤防かさ上げ

工事が進められています。本市では1999年と2003年の大雨による浸水被害を踏まえ、雨水整備の水準を引き上げ、「雨水整備レインボープラン博多」を策定。山王公園(博多区市民センター近く)下に、神殿のような地下調整池を整備し、雨水を貯留していること等を紹介し、情報交換を行いました。今後、**少子化・高齢化対策や環境問題等、意見交換を通して、両市が持つ課題の解消につなげていくことが重要です。**

広州市：中国広東省の省都で人口は約1500万人、北京、上海等と並ぶ大都市。近年は、自動車や造船、港湾物流等、ドローン企業やAI企業等が注目されている。また、長年、日本のトヨタや日産、ホンダが自動車の生産を行っている。

東奔西走

おちいし俊則 活動報告



非正規雇用の貧困問題を考える

(11/8 福岡県教育会館)

秋季講演会に野依智子教授(福岡女子大学)を招き、女性の非正規雇用の割合が増えている歴史的・制度的な問題と支援の在り方について意見交換をおこないました。



第6回福岡マラソン2019

(11/10 よかトピア通り)

今年も、福岡市議会マラソン議連のメンバーとして、給水ボランティア活動に参加。14,000人のランナーを応援。

「落石市長に質問します!」

(11/19 市議会本会議場)

第2回社会科特別授業。市長役を務め、「中学校の制服をなくしてはどうか」(仮)の議案を提案。6年生の熱心な議論が続きました。子どもたちが議会を身近なものに感じてくれたと思います。

所属委員会・協議会等

- ◆ 経済振興委員会 (経済観光文化局・港湾空港局・農林水産局)
- ◆ 少子・高齢化対策特別委員会
- ◆ 九州大学移転・跡地対策協議会
- ◆ 博多港地方港湾審議会
- ◆ 福岡市水産業振興審議会



おちいし俊則事務所

〒811-0204
福岡市東区奈多1-10-12
TEL 092-606-4541
FAX 092-606-6878
<http://www.ochiishi.jp/>
e-mail/info@ochiishi.jp



子どもたちに笑顔のあしたを! 議会活動レポート vol.25

2020年 新春号

おちいし俊則

福岡市議会議員【東区】

新年おめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の世相を表す漢字は「令」でしたが、各地を襲った大型台風や大雨等による甚大な被害の状況をみれば、一昨年と同様「災」ともいえる一年でした。

また、長年にわたりアフガニスタン等で医療や民生支援の活動を続けてこられたペシャワール会の中村哲氏の悲報は、その無念さを思うと言葉もありません。中村哲氏は福岡で生まれ育ち、2013年福岡アジア文化賞大賞を受賞されるなど福岡市にも大変ゆかりのある方でした。高校の先輩でもあり、残念でなりません。あらためてご冥福をお祈りします。

本年も、市民の安心・安全な暮らしづくりのため、行動してまいります。変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



■「観光・MICE推進プログラム」を審議!

(経済振興委員会 12/17)

昨年12月議会「経済振興委員会」では、本年4月から導入される宿泊税を活用して実施される各施策の方向性やこれまでの観光施策の課題をまとめた「観光・MICE推進プログラム」が報告されました。

プログラムによれば、2022年の市内での観光消費額目標を6,000億円に設定し、商店街や中小企業等地域経済への波及効果や交通混雑への対応、外国人観光客のマナー改善、違法民泊への対応を図り、観光・MICE振興を推進するとしています。

- ◆ MICE: meeting (企業等の会議)、incentive tour (招待旅行)、convention (学会・国際会議)、exhibition (展示会・イベント)の頭文字からとった造語
- ◆ 入込観光客: 観光地や遊園地等の施設、観光地域への入場者、来訪者数

本市の産業は、サービス業や小売業などの第三次産業が約9割を占めているため多くのビジネス客や観光客の来福によりまちの活性化につながると考えられます。しかし、そのことで地域や市民生活に支障があってはなりません。

本年第1回定例議会(3月議会)では、「観光・MICE推進プログラム」関連の宿泊税充当事業を含む予算案並びに「観光振興基金」(仮称)が提案される予定です。市民生活と調和した観光振興策となっているのか、検証・議論を行っていきます。

【観光・MICE推進プログラムの目標】

	2017年	2022年
観光消費額	4,983億円	6,000億円
入込観光客数	2,050万人	2,300万人
外国人入国者数	298万人	320万人

【取り組みの方向性】

九州のゲートウェイ都市機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ● マリンメッセ福岡B館等のMICE施設整備 ● 観光施設における利便性・おもてなし空間の創出 ● 観光客のスマートフォン等による情報収集・発信の利便性向上など
MICE開催等の集客拡大への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京オリンピック・パラリンピックや世界水泳大会に合わせた魅力発信 ● 災害時での観光客への対応や宗教に配慮した食のユニバーサル対応推進 ● 博多旧市街地等における歴史・伝統文化を活かした観光の推進など
市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊業者に対しての人材確保等、観光産業への支援 ● 商店街や中小企業の観光振興への支援 ● 農山漁村地域における自然環境を活かした観光振興の実施 ● 環境衛生監視員による健全な民泊の普及推進 ● 観光地周辺の公衆トイレの洋式化 ● 交通混雑への対応と観光客のマナー改善に向けた対策の実施など



観光の拠点 はかた伝統芸館 (博多区上川端町)

福岡市経済観光文化局資料より